

感覚特性の多様性理解に基づく音環境調整の普及に向けた活動

上野 佳奈子(明治大学)

背景

- ・保育・教育での特別な支援を必要とする子どもは増加傾向にあり、インクルーシブな場づくりが求められている。
- ・自閉症等の発達障害の子どもには、非定型的な聴覚特性があることが多く、生活や学習での困難の原因となる場合がある。
- ・聴覚過敏や聴覚情報処理障害などに対する合理的配慮として、感覚特性の多様性理解に基づく環境調整手法の普及が望まれている。

活動の概要

- ・身近な材料を用いて音の吸音・遮音性能を備えた音環境調整用補助具を製作し、子ども施設での使用例をまとめた事例集を作成した。
- ・環境調整の導入の促進を目指し、保育施設・小学校・児童発達支援センター・児童養護施設・商業施設・学会等で、感覚特性の多様性や個別の感覚特性に対する配慮のあり方、環境調整の有効性について理解を促すことをねらったワークショップ・授業・研修会を実施した。

小学校での授業

◇主なコンテンツ

- ・学校内の音や光の計測
- ・音の感じ方の個人差のグラフ化
- ・センサリーマップの作成
- ・落ち着ける居場所の模型づくり など

◇実施校

- ・川崎市立東住吉小学校5年生(2021)¹⁾
- ・川崎市立新城小学校4年生(2022, 2023)^{2) -7)}
- ・千葉市立有吉小学校4, 5年生(2023, 2024)⁸⁾



学校内の音・光の計測



地元NEWSでの発信



模型による落ち着ける居場所の検討

川崎市立新城小学校 第4学年 総合的な学習の時間

心と心をつなげよう
～感覚にやさしい社会をつくらう～

【日時】 2023年9月8日(金) 8:45～10:15(3組)、10:40～12:10(2組)
2023年9月11日(月) 8:45～10:15(1組)、10:40～12:10(4組)

【場所】 川崎市立新城小学校 視聴覚室

【参加者】 4年生 105名(1組26名、2組26名、3組23名、4組30名)

【企画・協力】 明治大学 理工学部 建築学科 上野研究室
発達障害を手がかりとしたUDコンサルタント 橋口亜希子
川崎市中原区役所 地域振興課 企画課

身の回りには、鳥のなきごえ、雨の音、車の音、人の声…など、たくさんの音があります。同じ「雷の音」でも、「かっこいい」「すき」とよい印象をもつ人もいれば、「こわい」「きらい」とわるい印象をもつ人もいて、音の感じ方は人それぞれがあります。1時間目は、身の回りのさまざまな音を聞いて、感じ方のちがいについて学びました！2時間目は、学校内の音・光を探して、センサリーマップを作り、合理的配慮について学びました！

※「センサリーマップ」とは？
音・光・においなど、感覚に影響を与える要素を地図上に示したものを、感覚に過敏さがある人などが、事前にその場所について知り、心の準備をするために使われます。海外の美術館などで用いられ、最近では国内でも作成の取組みが広がっています。

※「合理的配慮」とは？
障害などが理由で生活しづらいと感じている人が、障害がない人と平等に生活できるように、ひとりひとりの特徴や場面に応じて個別に調整や変更を行うことです。

1 時間目『いろいろな人の感じ方のちがいについて知ろう』

1.1 音を聞いて、感じ方を答えるワーク
4種類の身の回りの環境音源を聞いて、PCで以下の質問に答えました。
①どれくらい気になるか(○:気にならない)～[3:とても気になる])
②気になる音の印象(○:よい、×:わるい、△:どちらでもない)
③その音の「何が」「どうして」気になるか(自由記述)

2 時間目『身の回りの感覚を見る化してみよう～「センサリーマップづくり」を通して～』

2.1 センサリーマップ作成ワーク
班で学校内をまわり、「気持ちのいい」または「苦手」と感じる「音」「光」を探し、PCを使ってジャムボードの地図上に感覚要素に対応する色のマーカー、その要素・理由を書いたふせんをマッピングして、センサリーマップを作りました。

2.2 各班のマップを発表・共有
他の班のセンサリーマップを見て、気付いたことを班で話し合い、全体で発表・共有しました。

2.3 まとめ、取組み紹介
東博のセンサリーマップや、感覚過敏の疑似体験動画などの取組みを紹介し、合理的配慮について学びました。

まとめ
・音や光に対する感じ方は人それぞれがう！
・学校内にはさまざまな感覚要素がある！

↓

イスを引きずる音が苦手な人のために少しずかにイスを動かすようにしてみる、まぶしい光が苦手な人のためにカーテンを閉めた方がよいか聞いてみる、など、ひとりひとりの「**相手を思いやる心**」が、「**感覚にやさしい社会**」につながります！

感想では…
自分は静かだと思って、ほかの人にとってはうるさかったりして、感じ方は人それぞれだなと思いました。
感じ方は人それぞれだから、自分とちがっていても、それに対しておかしいと言わないようにしたいです。

「かわさき SDGs 大賞」優秀賞を受賞！
SDGs達成に役立った取組みとして、「センサリーマップでだれもがくらしやすさのために！」が、かわさき SDGs 大賞 2023 の優秀賞を受賞しました！

小学校での授業のドキュメンテーション

保育施設での児童向けワークショップ

◇主なコンテンツ

- ・音当てクイズ(音を聞く練習)
- ・食器の置き方、遠くにいる人への呼びかけ
- ・日常の音環境を改めて聞いてみる
- ・吸音材を使用したコーナーの体験 など

◇実施施設

- ・浦和ひなどり保育園年長児(埼玉, 2018)⁹⁾
- ・かさまの杜保育園年長児(神奈川, 2019)
- ・ひなどり幼稚園(埼玉, 2022)¹⁰⁾



音当てクイズ



食器の置き方による音の聞き分けのワーク

浦和ひなどり保育園 音体験ワークショップ

きもちよい音ってどんな音？

【日時】 (1) 2018年11月21日 10:00～11:00
(2) 11月27日 10:00～11:00

【対象】 年長児(26人)

【場所】 浦和ひなどり保育園 3,4,5歳児室

【協力】 明治大学理工学部建築学科 上野研究室

子どもたちの元気な声は大きすぎてしまうと、保育室全体が騒がしくなってしまう。そんな保育室の中で長い時間過ごすことは、子どもだけでなく、保育者にとっても快適とは言えません。保育室でみんなが気持ちよく過ごすためには、どうすればいいでしょうか？そこで、このワークショップでは、

(1)音を聞く体験を通して、音への気づきを得る
(2)3つのねらいを持ったコーナーでの過ごし方や音の楽しみ方を探る

この2つを目的として、子どもたちと一緒に保育室での気持ちいい過ごし方について考えました。

第1回 音を聞く体験を通して、音への気づきを得る

①はじめに
研究室スタッフから、はじめのあいさつをして、ワークショップは始まりました！

②何の音か当てよう/好きな音を書いてみよう
音を聞く練習として音当てクイズをしました！みんなの好きな音や苦手な音も教えてくれたね！

③お部屋の音を聞いてみよう
普段遊ぶときの音を聞いて、思ったことをみんなて話し合ったね！

④気持ちよくやってみよう
日常の音がどうしたらきもちよくなるかみんなで考えたね！

⑤おわりに
音を聞くことって楽しいね！明日からきもちよい音をいっぱい探してみよう！

第2回 コーナーでの過ごし方や音の楽しみ方を探る

①はじめに
研究室スタッフのあいさつ。「今日はグループに分かれておへやのコーナーを回ります！」

②リラックスペース
一人入って、波の音やチャイムの音をやさしく鳴らしたら心が落ち着いたね。

③おとのじっけんしつ
保育園にあるいろんな楽器で、気持ちいい音やすてきな音の出し方をみんなで探したね！

④絵本コーナー
読みかきせに耳をすませたり、落ち着いた声で読んだりしたね！

⑤おわりに
各コーナーの良さを改めて発見できました。今後のコーナーづくり、使い方に繋げていきたいと思います。

ワークショップを終えて
目的①音を聞く体験を通して、音への気づきを得る
ワークショップ後に子ども同士で声の大きさを確認しあう姿がみられたり、「音」というテーマの面白さ・奥深さを感じたりと、子ども・保育者ともに、音について考え直すきっかけになりました。
目的②コーナーでの過ごし方や音の楽しみ方を探る
集まりやコーナーの使い方など、これからの保育へと継続して取り組んでいきたいと思います。

保育園での児童向けワークショップのドキュメンテーション

職員・教員・支援者向けワークショップ・研修会

◇主なコンテンツ

- ・音環境についてのミニレクチャー
- ・音環境からの日常的な環境の振り返り
- ・吸音材を使用した補助具の体験
- ・改善に向けてのディスカッション など

◇実施場所

- ・新杉田のびのび保育園（神奈川、2019）¹¹⁾
- ・浜松市根洗学園（静岡、2023、2024）¹²⁾
- ・板橋区立板橋第十小学校（東京、2019）¹³⁾
- ・学童保育クラブ（東京、2021）
- ・日本LD学会大会企画ワークショップ（兵庫、2024）¹⁴⁾
- ・川崎市立新城小学校（神奈川、2023）
- ・社会福祉法人ひかりの園法人研修会（静岡、2023）
- ・STのための音響学講習会（オンライン、2023）
- ・目と心の相談室主催相談員を育てる講座（オンライン、2023）



保育者向けワークショップのドキュメンテーション

その他、児童・市民向けワークショップ

◇主なコンテンツ

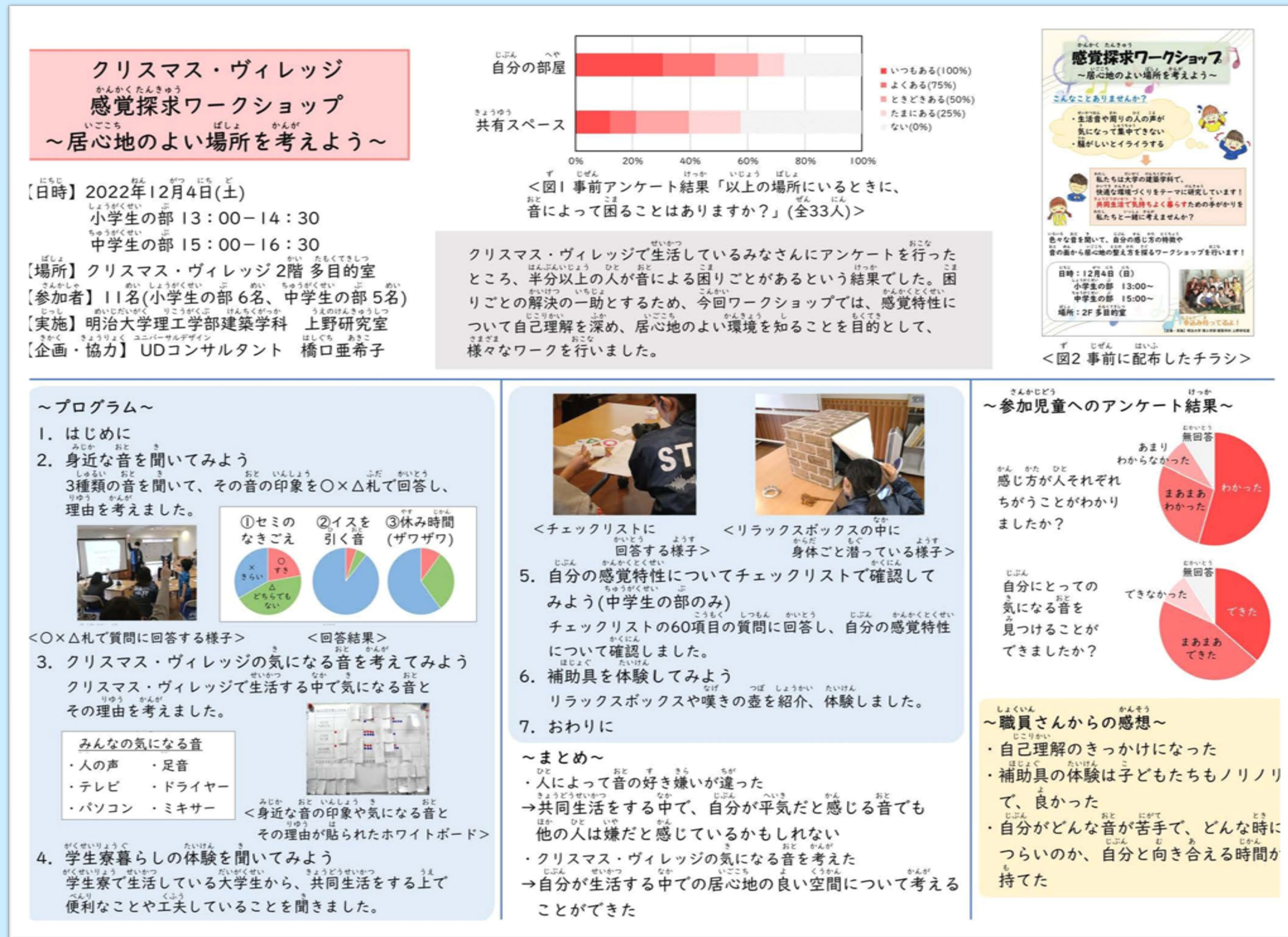
- ・音の好みを知ろう
- ・日常生活での気になる音・その理由の書き出し
- ・自分の感覚特性の確認
- ・吸音材を使用した補助具の体験・製作 など

◇実施場所・対象者

- ・児童養護施設 クリスマス・ヴィレッジ（東京、2022、2024）
- ・川崎市中原区・発達障害児童（神奈川、2021）¹⁵⁾
- ・グランツリー武蔵小杉・小中学生（神奈川、2022）¹⁶⁾
- ・こすぎの大学・一般市民（神奈川、2023、2024）¹⁷⁾



市民向けワークショップ



児童養護施設での児童向けワークショップのドキュメンテーション

謝辞

本活動の推進力となった明治大学建築環境計画研究室の学生の皆様、実施にあたりご協力いただいた関係者の皆様に、謝意を表します。

関連発表・報告

- 1) 地モトNEWS【東住吉小学校でセンサリーマップ作成授業】2021/11/24放送
- 2) 特別授業「感覚にやさしい社会をつくろう」【地モトNEWS】2022/10/31放送
- 3) 感じ方はひとそれぞれ市立新城小学校の4年生が音、光の情報を表したセンサリーマップづくりに挑戦、東京新聞トウデイ、2022.11.4.第1402号
- 4) どう教える 感覚多様性 新城小で職員が研修会、タウンニュース中原区版、2023年2月10日号、No.1161
- 5) 高橋 徹、松尾 綾子、上野 佳奈子、感覚特性の多様性の理解を促す学習プログラムの提案と実践、日本建築学会大会学術講演梗概集(東海)pp.251-252、2022.9.
- 6) 高橋 徹、松尾 綾子、上野 佳奈子、感覚特性の多様性の理解を促す授業実践の報告ー学習プログラムのパッケージ化を目指した検討、日本音響学会建築音響研究会資料AA2022-44、2022.12.
- 7) Kanako Ueno, Toru Takahashi, Ayako Matsuo, Promotion of the understanding of sensory diversity through elementary school class activity, INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings, InterNoise23, Chiba, Japan, pp. 6441-6448, 2023.8.
- 8) 松尾 綾子、上野 佳奈子、オープンプラン小学校における体験型学習を通じた居場所づくりの実践、日本建築学会大会学術講演梗概集(東北)、2025.9.（予定）
- 9) 高隆嘉、野口紗生、上野佳奈子、保育園における年長児のための音体験ワークショップの実践、日本音響学会講演論文集、pp.9-10、2019.3.
- 10) 栗山秀一郎、上野佳奈子、保育室における大型遊具を活用した吸音スペースによる音環境調整の取組み、日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)pp.55-56、2023.9.13-15
- 11) 野口 紗生、小向 真央、上田 哲平、上野 佳奈子、音から考える保育環境づくりー保育者による音環境づくりに向けたワークショップの実践ー こども環境学研究、Vol.16、No.1、p.57、2020.8.
- 12) 野口紗生、上野佳奈子、船場ひさお、松本知子、渡辺涼子、児童発達支援センターにおける音環境ワークショップの実践と効果の検証、日本音響学会講演論文集、pp.3-4、2023.09.
- 13) 荒井みなみ、上野佳奈子、特別な支援を必要とする児童のためのスペース作りー仮設校舎における音環境の実態と運用上の対策 その2、日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)pp.293-294、2020.9.
- 14) 上野佳奈子、高橋秀俊、感覚特性に配慮した空間づくりー音環境の整え方を知ろうー、LD研究、第34巻第1号、pp49-54、2025.3.
- 15) 下川裕輝、臼倉侑希、荒井みなみ、上野佳奈子、橋口亜希子、聴覚特性の理解に基づく環境調整に向けた取組みー発達障害のある児童のためのワークショップー 日本音響学会講演論文集、pp.1265-1268、2022.3.
- 16) 地モトNEWS【センサリーマップ展】2022/3/21放送
- 17) 志水祐貴、松尾綾子、上野佳奈子、環境調整のニーズの理解を促すワークショップの実践、日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)pp.163-164(2024.8)